

平成28年度事業報告

第1 はじめに

県内のシルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）の運営を取巻く環境は、補助金においては前年度の水準が確保されたものの、国の事業仕分けに併せて自治体の補助金も削減された中で、全体としては事業仕分け前の金額と比較して程遠いものとなっており、またその枠組みも大きく変更された状況となっている。

一方、受注環境については、全体として公共及び民間部門ともに受注量が伸び悩んでいる状況にあって、形態別では請負での受注が減少する中で、派遣事業においては事業の拡大が継続する結果となった。

こうした中、公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）は、本格的な少子高齢社会にあって、高齢者がその有する経験と能力に応じて地域社会で活躍する場としてのシルバー事業の活性化を目指して「広島県シルバー人材センター連合第4次事業推進計画」（以下、「中期計画」という。）を踏まえた、平成28年度事業計画に基づき、国及び自治体並びに関係機関の理解と支援の下、県内のシルバー人材センター並びに高齢者能力活用協会（以下「活動拠点」という。）と一体となって積極的な事業運営に取り組んできた。

事業の実施にあたっては、①会員の拡大、②受注・就業機会の拡大、③安全就業の確保・徹底を重点に効果的・効率的な事業展開に努めるとともに、国からの委託事業について積極的に実施した。

このうち、会員の拡大については、シルバー事業を推進する中で、あらゆる機会を通じて周知・啓発に努めるなど入会促進の取組み強化を図り、年度中途の一時期には会員数が前年度末から増加する状況も見られたが、年度末の多数の退会者の影響を受けて最終的には減少となり、また中期計画における目標数についても未達成となった。

受注・就業機会の拡大については、会員のニーズや就業形態の多様化に応じた新たな分野の仕事の開拓・開発へ取組み、その取組みに向けては、今般作成された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の趣旨に沿った就業機会の確保に努めた。

安全就業の確保・徹底については、活動拠点と一丸となって安全意識の徹底と事故防止対策に取組み、傷害事故発生件数は過去最少となったものの、重篤事故が2件発生する結果となった。今後も事故防止に向けた効果的な取組みを実施していくことが重要である。

個別の事業実施状況は、次のとおりである。

第2 事業実施状況

《公1》

【 シルバー人材センター事業 】

高齢者の臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業、並びにその他の社会参加活動を県内全域で一体的に推進する。

1 普及啓発事業 《公1》〔1〕3(1)

県内全域を対象に、シルバー人材センターの理念や事業内容を周知し、シルバー事業への理解と参加を求めるため、あらゆる機会をとらえて普及啓発活動を実施した。

- (1) 広報誌「連合のあゆみ 設立20周年記念特集号」34号(年1回)の発行
連合設立20年の軌跡、シルバー事業の取組みを掲載し普及啓発に努めた。
(平成28年11月 800部配布)

- (2) 連合会だより「mo・mi・ji」(月刊)の発行
月間実績、行事・トピックス等を掲載し、普及啓発に努めた。
(毎月初旬 347部配布)

- (3) 普及啓発のためのポスター、リーフレット等の作成・配布
普及啓発用ポスター・リーフレットについては、会員募集と一般県民に対するシルバー事業の周知を目的としたものに区分し作成・配布を行った。

ア 会員加入促進用ポスター・チラシ

ポスター「広島県全域に広がる よろこびと人の和」1,000部

チラシ 10,000部

イ シルバー事業周知用リーフレット

「高齢者の知識と経験を社会に生かそう」 20,000部

ウ シルバー派遣事業周知用リーフレット

「派遣事業のご案内」 10,000部

エ 就業開拓用チラシ 10,000部

オ ハローワークの協力を得て、会員募集チラシを19,000部配付した。

カ 全国健康保険協会広島県支部の協力を得て、会員募集チラシを10,000部配布した。

キ 全シ協が発行する「シルバー人材センター」(月刊)を4部購入し関係機関に配布した。

- (4) 普及啓発促進月間(10月)及び「シルバーの日」を中心とした啓発活動

「シルバーの日」(10月15日(土))において、当連合会は広島駅前での街頭普及活動を行い、各活動拠点は地域の実情に応じた美化活動・街頭普及活動等を通じ、地域住民に対してシルバー事業のPRを行った。

ア 公共施設等の美化、チラシ配布等の広報活動

イ 活動拠点への活動支援用品として、「普及啓発タオル」4,000 枚、「会員募
集用ティッシュ」15,000 部を配布

ウ 「シルバーの日」の実施計画を県政記者クラブへ情報提供（9月30日）

(5) 地域の関連イベント等への積極的な参加

福山市シルバー人材センター設立 30 周年記念式典(平成 28 年 9 月 25 日)
に会長が出席した。

(6) ホームページを活用した周知・広報

技能講習・セミナー日程や各種のイベント情報など、ホームページによる
一般の利用者への情報提供に努めた。

なお、アクセス件数は、開設以来約 51,100 件に達している。

(7) 図書・ビデオ等を活用した啓発

安全就業を含め、シルバー事業の啓発及び運営等の参考となる図書・ビデ
オを購入・整備し、必要に応じ関係方面に無料貸出しを行った。

ア 平成 29 年 3 月末のビデオ設置 98 巻

イ 貸出し実績 6 巻

2 就業開拓・開発推進事業 《公1》〔1〕3（3）（4）

シルバー事業の運営の基本である、会員の経験、知識、技能等を活かした仕
事の確保と提供について、各活動拠点における新しい就業分野の開発拡大のた
め、次の事業を行った。

(1) シルバー派遣事業の拡大

シルバー派遣事業については、20 拠点の全事務所で事業を実施し、事業
実績は、受注件数 555 件、就業延人員 85,753 人日、契約金額 459,994 千円
となり、前年度対比で大幅な拡大となった。

また、派遣システムの更新にかかる研修会を実施した。

ア 派遣システム更新にかかる研修会

・平成 28 年 11 月 17 日 場所：広島市シルバー人材センター会議室
35 名参加

イ 「派遣元責任者講習」の受講促進

・平成 28 年 8 月 19 日 場所：東京都 1 名参加

・平成 28 年 9 月 30 日 場所：大阪府 6 名参加

・平成 28 年 12 月 9 日 場所：福岡県 7 名参加

ウ 「派遣労働登録会員ハンドブック」作成・配付 1,000 部

(2) ホワイトカラー関係職種に係る就業機会の拡大

高齢者の多様な就業ニーズに対応した職種を確保するため、特に IT 関
係や流通関係業界への就業開拓を実施した。

(3) 福祉・家事援助サービス事業の推進に係る支援

福祉・家事援助分野の事業拡大とサービスの充実並びに介護予防・日常生活支援総合事業への取組みを図るため、会議・研修会等を実施した。

ア 指導員会議

(第1回)

日 時 平成 28 年 5 月 18 日

内 容 平成 28 年度福祉・家事援助サービス事業計画について

(第2回)

日 時 平成 28 年 7 月 8 日

内 容 平成 28 年度福祉・家事援助サービス研修会の内容について

イ 指導員活動拠点訪問・意見交換会

(平成 28 年 8 月 18 日 福山市 S C)

ウ 福祉・家事援助サービス研修会

日 時 平成 28 年 8 月 24 日

場 所 広島ガーデンパレス

参加者 37 名

研修内容

・ 講 演

「介護予防について」

広島都市学園大学講師 上川 紀道 氏

・ 報 告

「全シ協 福祉・家事援助サービス担当者会議の報告」

広島県シルバー人材センター連合会 指導員 竹崎 昭彦

(4) 地域就業機会創出・拡大事業の実施に係る活動拠点に対する指導・援助

平成 28 年度地域就業機会創出・拡大事業について、新規事業は申請どおり 3 拠点 4 事業が採択され、全体では 8 事業実施した。

地域就業機会創出・拡大事業の実施件数 (件)

開始年度	拠点数	事業数
平成 26 年度	1	1
平成 27 年度	2	3
平成 28 年度	3	4
累 計		8

※平成 26、27 年度開始分は、地域ニーズ対応事業を継続実施しているもの

(5) 独自事業の開発及び取組みに係る支援

独自事業に係る事例の収集(16 拠点 67 事業)及び地域ニーズ対応事業 (平成 28 年度未終了事業 1 事業)に係る補助期間終了後の事業継続の指導を実施した。

(6) 「シルバーしごとネット」を活用した就業開拓の推進

平成 28 年度の問い合わせ件数は、73 件で、そのうち受注件数は 16 件、受注金額は 315,367 円であった。

(7) 地方自治法に定める随意契約特例条項の適用等についての要請活動

例年同様、県議会議長並びに県議会警察商工労働委員会委員長に対しシルバー事業への理解と支援の拡大について、連合会役員による要請を行った。

- ・要請年月日 平成 28 年 9 月 21 日
- ・要 請 先 広島県議会議長
同 警察商工労働委員会委員長
- ・対 応 者 会長、副会長、常務理事、理事、事務局

3 安全・適正就業対策推進事業 《公 1》〔1〕2（1）（2）及び3（2）

シルバー事業の運営にあたっては、「安全は全てに優先する」の観点から、会員の安全への意識啓発、事故防止対策に組織を挙げて取り組んだ。

また、受注する事業分野の拡大及びこれに伴う就業形態の多様化が進む中で国が策定した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を周知し、これを遵守した就業の適正化を図った。

【安全就業対策】

(1) 安全就業対策委員会の開催

会員が健康で安心して働くことができるための対策を講じるため、安全就業対策委員会を開催した。（平成 28 年 6 月 6 日 場所：連合会会議室）

（取組事項）

- ・ 活動拠点の安全・適正就業対策を支援するため安全等の啓発
- ・ 安全パトロールの実施計画の策定
- ・ 6 月から 9 月までを「熱中症対策強化期間」として設定し、安全就業対策に努めた。

(2) 安全就業対策委員による安全パトロールの実施

安全・適正就業強化月間のみならず年間を通じて各活動拠点での安全就業対策等の取組み状況の聴取及び作業現場における安全就業確認等の現場パトロールを実施した。

巡回先活動拠点	巡回日
三次市シルバー人材センター	平成 28 年 7 月 13 日
世羅町シルバー人材センター	平成 28 年 7 月 14 日
広島市シルバー人材センター	平成 28 年 7 月 15 日
東広島市シルバー人材センター	平成 28 年 7 月 26 日
廿日市市シルバー人材センター	平成 28 年 7 月 27 日

巡回先活動拠点	巡回日
三原市シルバー人材センター	平成 28 年 10 月 4 日
安芸太田町シルバー人材センター	平成 28 年 10 月 7 日
神石高原町シルバー人材センター	平成 28 年 10 月 21 日
庄原市シルバー人材センター	平成 28 年 10 月 25 日
北広島町シルバー人材センター	平成 28 年 10 月 28 日

(3) 「安全・適正就業強化月間」を中心とする取組

連合本部・活動拠点における平成 28 年度安全・適正就業強化月間の取組みとして、次の会議・研修会を実施し安全・適正就業にかかる取組の徹底を図った。

ア 安全・適正就業推進員会議の開催

日 時 平成 28 年 6 月 30 日

開催場所 広島ガーデンパレス

参加者 42 名

・講演① 「適正就業について」

NR I 社会情報システム(株)

マーケティング担当課長 兼永 敏博 氏

・講演② 「適正な労働者派遣事業を実施するために」

広島労働局 需給調整事業課

課長補佐 武智 直道 氏

・報告・説明

・平成 28 年度 安全・適正就業強化月間の実施計画について

・平成 27 年度 シルバー人材センターにおける事故発生状況の分析について

イ 安全就業担当職員研修会の開催

(広島会場)

日 時 平成 28 年 7 月 20 日

場 所 広島ガーデンパレス

参加者 71 名

研修内容

・講演① 「蜂に刺されないための安全対策」

(一社)広島県ペストコントロール協会

理 事 児玉 泰晴 氏

・講演② 「剪定作業における安全対策について」

職業訓練指導員 沼田 佳秀 氏

・発表 「重篤事故発生後の安全対策について」

広島市シルバー人材センター

企画担当主査 谷中 久美子 氏

・平成 27 年度事故発生状況の分析

(福山会場)

日 時 平成 28 年 7 月 12 日
場 所 広島県民文化センターふくやま
参 加 者 52 名
研修内容

・広島会場と同じ

(4) 「ヒヤリ・ハット体験事例集」の発行

「ヒヤリ・ハット体験事例集」を 1,000 部作成、活動拠点に配布し安全就業対策に努めた。

(5) 「安全就業ガイドブック」の発行

「安全就業ガイドブック」を 8,000 部作成、活動拠点に配布し会員の安全に対する意識の向上を図った。

【適正就業対策】

(1) シルバー事業の意義を遵守した「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」への就業の確保

就業形態が多様化する中で、就業実態に応じた請負・委任又は労働者派遣による契約の明確化により会員の適正就業を確保するため、活動拠点に対する個別指導・援助を実施した。

・国が作成した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の周知並びに遵守について各拠点を訪問し指導した。(9月～10月)

(2) シルバー派遣事業の適正な運営

事業の適正・円滑な実施を図るため、相談・指導を行うとともに「派遣元責任者講習会」に連合会及び活動拠点の職員が受講した。

ア 個別相談の実施

適正就業の確保に係るシルバー派遣事業について、年間を通じた相談・指導を実施した。

イ 派遣元責任者講習の受講

・平成 28 年 8 月 19 日	場所：東京都	1 名参加
・平成 28 年 9 月 30 日	場所：大阪府	6 名参加
・平成 28 年 12 月 9 日	場所：福岡県	7 名参加

(3) 職業紹介事業の適正な運営

職業紹介事業の適正な運営を図るため、相談・指導を行うとともに、「職業紹介責任者講習会」に連合会及び活動拠点の職員が受講した。

ア 個別相談の実施

適正就業の確保に係る職業紹介事業について、年間を通じた相談・指導を実施した。

イ 職業紹介責任者講習の受講

- ・平成 28 年 12 月 14 日 場所：大阪府 6 名参加
- ・平成 29 年 1 月 19 日 場所：東京都 2 名参加

4 研修事業 <公1> [1] 3 (4)

事業の活性化と適正な運営を確保するため、連合会及び活動拠点の役職員を対象とする研修会を開催するとともに、関係機関主催の研修会等へ参加した。

(1) 役職員研修会

日 時 平成 28 年 6 月 20 日
場 所 広島ガーデンパレス
参加者 54 名
講 演 「生涯現役を実現するために」
(一社)中高年齢者雇用福祉協会講師
中小企業診断士 川出 泰造 氏

(2) テーマ別・業務別役職員研修会

ア 派遣システム更新に係る研修会

日 時 平成 28 年 11 月 17 日
場 所 広島市シルバー人材センター会議室
参加者 35 名
研修内容
・「collabo80+ システム操作について」
NR I 社会情報システム(株)
上級システムエンジニア 古川 慶子 氏
エイジレス80 コールセンター 松本 好美 氏
・説明 「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」について

イ 会計実務担当者研修会

日 時 平成 29 年 1 月 26 日
場 所 広島ガーデンパレス
参加者 40 名
研修内容
・「公益社団法人の会計の実務について」
広島県 総務課 公益法人担当 参事 本 博之 氏

(3) 全国シルバー人材センター事業協会主催の研修会等への参加

研修及び業務会議名称	実施日	参加者数
福祉・家事援助サービス担当者会議	6月28日	2名
シルバー派遣事業実務担当者研修	7月22日	1名
第1回新任事務局長研修(会員数500人以上)	8月31日・9月1日	3名

研修及び業務会議名称	実施日	参加者数
第2回新任事務局長研修(会員数500人未満)	10月6日・7日	1名
新任理事長(会長)研修	10月27日・28日	2名
中堅職員研修	11月25日	1名
安全・適正就業指導員会議	11月30日	1名

(4) 中国ブロックシルバー人材センター連合協議会主催の研修会への参加

ア 実務担当職員研修会

日 時 平成28年9月27日・28日

場 所 メルパルク岡山

県内参加者 連合会2名、活動拠点30名

基調講演 「シルバー人材センター事業の課題及び展望について」
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
事務局長 今野 文平 氏

事例発表① 「就業機会の確保について」
安来市シルバー人材センター
事務局長 広江 敦 氏

事例発表② 「会員拡大及び就業機会の確保について」
大竹市シルバー人材センター
主任主事 清水 俊郎 氏

事例発表③ 「会員確保の課題と対応」
下松市シルバー人材センター
事業係主任 白木 伸幸 氏

分科会 テーマA「会員の確保・拡大」
テーマB「就業機会の確保」

イ 役職員研修会

日 時 平成28年11月29日・30日

場 所 メルパルク岡山

県内参加者 連合会3名、活動拠点72名

基調講演 「シルバー人材センター事業の今後の取組みの方向性」
厚生労働省職業安定局雇用開発部高齢者雇用対策課
課長補佐 安蒜 孝至 氏

講 演① 「シルバー人材センターの現状と課題」
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
専務理事 村木 太郎 氏

講 演② 「シルバー人材センターの適正な事業運営について」
NR I 社会情報システム株
マーケティング担当課長 兼永 敏博 氏

5 活動拠点の運営等に関する指導・援助活動 《公1》〔1〕3(4)

(1) 個別指導の実施

指導対象活動拠点	訪問日
三次市シルバー人材センター	平成28年11月14日
海田町シルバー人材センター	平成28年11月28日
呉市シルバー人材センター	平成28年12月7日
三原市シルバー人材センター	平成28年12月21日
広島市シルバー人材センター	平成29年1月20日
廿日市市シルバー人材センター	平成29年1月25日

(2) 要請に基づく相談・援助

活動拠点を訪問し、運営等に関する意見交換を実施した。

(3) 事務局長会議の開催

会議	開催年月日	内容	場所
第1回	平成28年7月4日	広島労働局からの指示・説明 広島県からの指示・説明 「都道府県シルバー連合事務局長会議」の伝達ほか	広島ガーデンパレス
第2回	平成29年2月21日	「都道府県シルバー連合事務局長会議」の伝達ほか	広島ガーデンパレス

(4) 「シルバー派遣事業」に係る業務検討会議の開催

事業推進会議に併せて開催（平成28年8月30日）

(5) 業務検討会議及び情報交換会の開催

委託事業説明会に併せて開催（平成28年4月22日）

6 会員の拡大及び就業分野の開拓・拡大のための事業推進計画の策定及び進捗管理 《公1》〔1〕3(1)(3)

事業推進計画策定委員会による「事業推進会議」を開催し、「第3次事業推進計画」の最終年度（平成27年度）の実施状況について点検・評価を行うとともに平成28年度を初年度とした「第4次事業推進計画」の浸透を図った。

会議等	開催年月日	内容
事業推進会議	平成28年8月30日	目標達成に向けた取組み状況について ・活動拠点の取組状況 ・会員100万人達成計画 ・高齢者活用・現役世代雇用サポート事業委託事業について

※ 第4次事業推進計画(平成28年度から平成32年度までの5カ年計画)がスタートした。

7 調査研究事業 《公1》 [1] 3 (3)

(1) 県内で事業活動を行う事業所、団体等を対象とした需要調査

地域の企業等における高年齢者の人材ニーズにかかる「高年齢者の雇用・就業に関するアンケート調査」の実施及び「結果報告書」を作成・配布した。

(2) 事業実施状況の把握・分析及び事業概要等の統計調査

ア 事業推進会議を開催(平成28年8月30日)し、事業実施状況について把握、分析した。

また、シルバー派遣事業の運営上の課題について、協議した。

イ 活動拠点の事業実績を調査分析した「シルバー人材センター事業統計年報」及び「事業概要」を作成・配布した。

8 職業紹介事業 《公1》 [1] 2 (1)

「職業紹介事業紹介責任者講習」の受講(再掲)

- | | | |
|--------------|--------|------|
| ・平成28年12月14日 | 場所：大阪府 | 1名参加 |
| ・平成29年1月19日 | 場所：東京都 | 2名参加 |

9 労働者派遣事業 《公1》 [1] 2 (2)

「派遣元責任者講習」の受講(再掲)

- | | | |
|-------------|--------|------|
| ・平成28年8月19日 | 場所：東京都 | 1名参加 |
| ・平成28年9月30日 | 場所：大阪府 | 6名参加 |
| ・平成28年12月9日 | 場所：福岡県 | 7名参加 |

10 センター設置促進事業 《公1》 [1] 3 (1)

未設置地域を解消し、県内全ての地域において、シルバー事業への参加が可能となるよう、広島労働局及び広島県と連携し国庫補助団体(センター)への移行を含めた支援に努めた。

《公2》

【シニアワークプログラム地域事業】

高齢者の技能開発を中心とした雇用就業支援を行うことにより、高齢者の雇用・就業機会の確保を図るとともに、地域社会における労働力需要に応える。

1 シニアワークプログラム地域事業 《公2》 [1]

高齢者がその希望に応じた雇用・就業が可能となるよう、広島労働局から委託(①シニアワークプログラム地域事業(以下「地域SP事業」という。)、②高齢者活躍人材育成事業(以下「育成事業」という。))を受けて、雇用・就業機会の確保のための技能講習を実施した。

(1) 業種別事業主団体等に対する高齢者雇用の啓発

- ・ 事業推進員等により、事業主団体及び傘下の事業所等を訪問し、高齢者雇用の有効性、重要性、必要性等について理解を求め、委託事業の技能講習や面接会への参加を勧奨するとともに、求人情報の収集を行った。
- ・ また、地域S P事業及び育成事業の周知用ポスター、パンフレット、リーフレット等を作成し、行政機関、ハローワーク、事業主団体、活動拠点等の協力を得て、掲示や配布を行うとともに新聞広告を実施した。また、関係市町等の広報誌への掲載を依頼した。

(2) 求人・求職者に対する事業の周知・広報及び雇用就業情報の提供・相談の実施

- ・ 技能講習等の募集要項を作成し、事業の周知・広報に努めるとともに受講者の募集を行った。
- ・ 高年齢者雇用に係る人材ニーズ等のアンケート調査及びハローワークとの連携により確保した求人情報を求人一覧表として取りまとめ、就職ガイダンスや就職面接会等で活用した。
- ・ 事業登録者に係る求職者情報一覧表を作成し、就職面接会参加求人事業所等に提供した。
- ・ 連合会に相談窓口を設置し、事業主の求人に対する相談や、高年齢者の技能講習の受講や就職についての職業相談を実施した。

(3) 技能講習受講希望者への支援

事業登録者との面接相談を基本に、キャリア・コンサルティングを実施し、登録者の希望する仕事や収入、勤務時間とのマッチングを図り、効果的な導入支援を実施した。

(4) シルバー派遣就業等希望者への支援

超高齢社会が進展する中で、人手不足分野や現役世代を支える分野でシルバー人材センターを活用した高齢者の多様な働くニーズに対応した活躍の場を創出するため、当該分野での就業に必要な能力を身につけさせるための技能講習（シルバー派遣会員の教育訓練を含む。）を実施した。

区分	講習名	回数	募集人員	受講開始者数	修了者数
1	店舗スタッフ	3	40	30	28
2	調理補助	2	30	20	20
3	介護関係	3	45	40	37
4	子育て支援	1	15	12	10
5	緑化メンテナンス	4	65	56	56
6	刈払機取扱安全	6	90	90	90
7	安全運転	15	254	220	218
8	施設清掃	3	40	32	32
9	家事援助	4	60	49	48

区分	講習名	回数	募集人員	受講開始者数	修了者数
10	室内メンテナンス	1	15	12	12
	合計	42	654	561	551

(5) 技能講習の実施

高齢者（55歳以上）を対象として、高齢者の雇用機会の確保を図り地域社会における労働力需要に資することを目的として、技能講習を実施した。

区分	講習名	回数	募集人員	受講開始者数	修了者数
1	マンション管理員	4	105	83	82
2	パソコン・接遇	2	25	22	22
3	緑化メンテナンス	3	40	39	39
4	果樹剪定	1	10	7	7
5	フォークリフト	2	36	28	28
6	オフィスクリーニング	1	10	4	4
7	パソコン	3	60	52	52
8	介護職員初任者	1	20	20	20
9	子育て支援	1	15	9	9
10	調理補助	4	60	43	43
	合計	22	381	316	315

(6) 管理選考の開催への協力・連携

講習修了者の就職を支援するため、講習会終了後、ハローワークの実施する管理選考（就職面接会）について、関係事業主団体、参加事業所、広島労働局及び活動拠点との協力の下、職業相談・紹介等を実施した。

〔実施状況〕

- ・ 開催回数 20回
- ・ 就職者数 25人

(7) フォローアップの実施

講習修了者のうち、管理選考等で就職に至らなかった者について、次回面接会への参加案内を行うほか、個別に修了者と相談の上、ハローワークへの誘導を行った。

(8) 実態調査事業受託者に対する協力

中央指導受託者の調査等の依頼に協力した。

《法人事業》

1 総会及び会議の開催

〔定款に基づく会議〕

会議の名称	開催年月日	内 容（決議事項のみ抜粋）
第1回 定時理事会	平成28年6月2日	平成27年度事業報告及び収支決算について 平成28年度定時総会の開催について
定時総会	平成28年6月20日	平成27年度事業報告及び収支決算について 定款の一部変更について 役員を選任について 会長に対する権限委任について
臨時理事会	平成28年6月20日	会長の選任について
第2回 定時理事会	平成28年9月21日	平成28年度収支予算の補正について
第3回 定時理事会	平成29年3月22日	資産取得資金（OA機器取得積立資産）の保有について 平成28年度収支予算の第2次補正について 給与規程の改正について 平成29年度事業計画について 平成29年度収支予算について 有料職業紹介事業の運営に関する規程の改正について シルバー派遣事業実施規程の改正について 会長に対する権限委任について

2 事業運営等に係る進捗管理【再掲】

会議等	開催年月日	内 容
事業推進会議	平成28年8月30日	目標達成に向けた取組み状況について ・活動拠点の取組状況 ・会員100万人達成計画 ・高年齢者活用・現役世代雇用サポート事業 委託事業について

※ 第4次事業推進計画（平成28年度から平成32年度までの5カ年計画）がスタートした。

事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。